

県政運営評価戦略会議 説明資料

基本目標5 「みんなが主役・元気とくしま」

保健福祉部

基本目標5 「みんなが主役・元気とくしま」

5-1 安心子育てとくしまづくり

5-2 高齢者生き生きとくしまづくり

5-3 障害者生き生きとくしまづくり

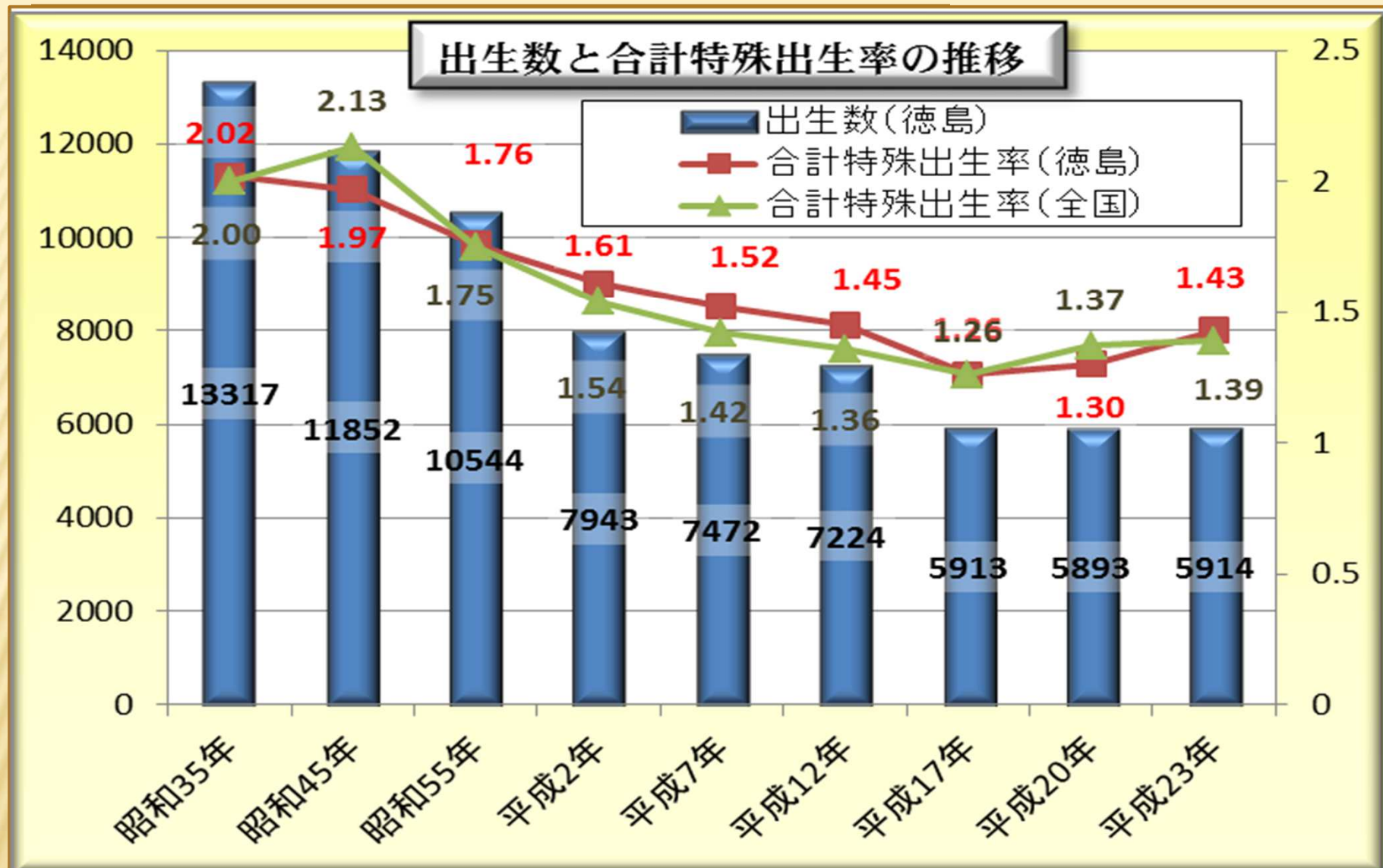
5-4 ユニバーサルとくしまづくり

5-5 共助共生とくしまづくり

基本目標 5 「みんなが主役・元気とくしま」

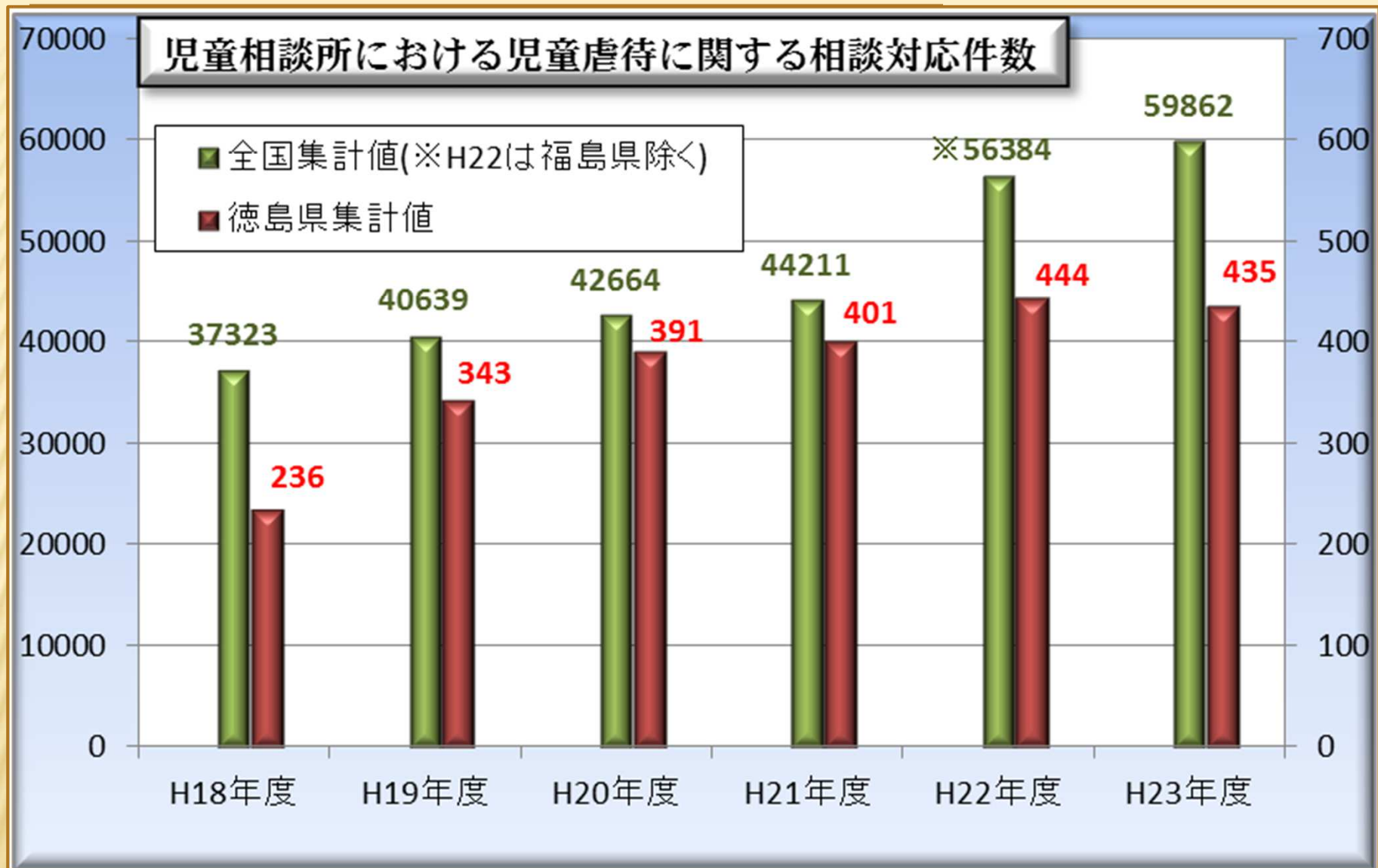
5-1 安心子育てとくしまづくり

- 1 地域の子育て力の充実
- 2 男女の出逢いの場づくり
- 3 子育て機能の向上
- 4 次世代育成支援のための経済的負担の軽減
- 5 要保護児童対策の推進



本県の出生数は第2次ベビーブームが到来した昭和40年代からほぼ半減している。合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に出産する平均子ども数の推計）については、全国は平成20年以降ほぼ横ばいだが、本県はまだ低い値ではあるものの3年連続で増加している。





児童虐待の相談対応件数は社会的な関心の高まりから平成23年度に過去最多を更新している。徳島県の相談件数も高止まりである。

徳島県次世代育成支援行動計画
「徳島はぐくみプラン」（後期計画）
平成22年3月策定

基本
理念

子どもたちを大切に育み、
子育ての喜びを分かち合える
徳島をめざして！

徳島の未来を創る子どもたちとの
みんなではぐくみ **4つの約束**

約束①
はぐくむ

- ・ 家庭における子育て支援の充実
- ・ 地域の総合的な子育て力の充実
- ・ 保育サービス等の充実

約束②
ふれあう

- ・ 仕事と子育て両立のための働き方の見直し、環境づくり
- ・ 男女が協力し合う子育ての推進

約束③
まもる

- ・ 母と子の健康づくり
- ・ 要保護児童・障害児への支援
- ・ ひとり親家庭の自立の支援
- ・ 安全・安心なまちづくりの推進

約束④
すすめる

- ・ 未来を創る若者への支援
- ・ 教育環境の整備・充実
- ・ 県民の参画促進



地域子育て応援団

(目標) H23
・結成団体数 9 団体



(実績) H23
・結成団体数 9 団体



「子育て総合支援センターみらい」が地域の団体と連携し、高齢者や若者等が子育て支援に参加する「地域子育て応援団」の結成等、地域における住民主体の子育て支援ネットワーク構築を支援する。

課題

- ・ イベント等を開催していない地域においての子育て支援者（団体）との連携
- ・ 既存の応援団に対する継続した活動支援

今後の取組み方針

- ・ 子育て支援拠点施設やこれまでのネットワークを活かすとともに、「子育て応援の匠」派遣事業等を活用するなどして、地域の子育て資源をつなげ、「地域子育て応援団」の育成を図る。

病児病後児保育

(目標) H23
・実施市町村数 13 市町村



(実績) H23
・実施市町村数 11 市町村



病児・病後児保育事業の推進とあわせ、看護協会及びファミリー・サポート体制等との連携により全県的な病児病後児の受入環境を整備する。

課題

- ・ 実施にあたっての人員・施設の確保

今後の取組み方針

- ・ 医療機関等に付設した施設型の病児病後児保育の推進
- ・ 1 施設を複数の市町村が利用できる広域利用の推進
- ・ 一定の研修を受講した看護師を保育が必要な病児病後児の自宅等を訪問する病児病後児サポート事業の実施

乳幼児等医療費助成制度

(目標) H23
・全国トップクラスの堅持



(実績) H23
・小学3年生修了まで
(全国6位)

達成

平成24年10月から対象年齢を「小学校修了」までに拡大し、制度の充実を図り、名称も「子どもはぐくみ医療費助成制度」と改めることとした。

課題

・いわゆる「コンビニ受診」が増加傾向にあり、救急医療の適正な受診についての普及啓発活動が必要

今後の取組み方針

・10月からの対象年齢拡大により、「全国トップクラスを堅持」する。
・単独拡大済みの市町村に対しては、自治体への財政支援となることから、更なる子育て支援施策の充実を側面から支援する。

要保護児童対策の推進

(目標) H23
・「養育支援訪問事業」
実施市町村数 18市町村



(実績) H23
・17市町村

未達成

要保護児童対策地域協議会を活用し、必要な支援を実施することにより、児童虐待の早期発見・早期対応及び虐待防止に向けた普及啓発を図る。

課題

・児童虐待防止のため、市町村要保護児童対策地域協議会と連携し、効果的な運用を行うことが必要

今後の取組み方針

・未実施市町村に対する働きかけ

基本目標 5 「みんなが主役・元気とくしま」

5-2 高齢者生き生きとくしまづくり

- 1 高齢者対策の推進
- 2 地域福祉のリーダーの養成
- 3 「生涯現役」の「元気高齢者づくり」の推進
- 4 介護基盤の整備
- 5 高齢者の身体機能に応じた住宅改修等の推進
- 6 高齢者虐待防止の推進

とくしま高齢者いきいきプラン（2012～2014）の概要

～ 目指すべき姿 ～

高齢者の笑顔の花咲く徳島

計画策定の基本理念

～ 高齢者が「地域の宝」として尊ばれ、「地域の絆」で結ばれ、「地域の命」を守る長寿社会の実現 ～

4つの重点課題

●いきいき「元気高齢者」の活動支援の推進

◇シルバー大学等との連携による活動・交流、県健康福祉祭の県南・県西部サテライト大会、生き生きシニアの登録・顕彰 など

●地域で支え合う環境づくりの推進

◇「地域包括ケアシステム」の推進、ひとり暮らし高齢者支援、認知症高齢者対策、減災・防災対策の推進 など

●介護サービス等の充実・「介護・保健・医療」の連携推進

◇介護基盤の整備（特別養護老人ホーム204床を整備）、「定期巡回・随時対応サービス」「複合型サービス」の普及 など

●介護保険制度運営の適正化の推進

◇介護給付費の適正化の推進、「指導監督」の強化、介護保険財政安定化基金の取崩しによる介護保険料の抑制 など

地域福祉のリーダーの養成

(目標) H23
・生きがづくり推進員
活動延べ日数 400日

(目標) H23 (累計)
・シルバー大学院
資格取得者数 600人

(実績) H23
・444日

(実績) H23
・669人

達成

達成

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう生きがづくりを支援するとともに、地域福祉を推進するリーダーを養成する。

課題

・生きがづくり推進員の多様な活躍の場の創設

今後の取組み方針

・「シニア応援サイト」を活用した活躍の場の創設

・シルバー大学校・大学院において、高齢者のニーズに合うように講座を充実する

介護基盤の整備

(目標) H23
・介護支援専門員の養成者数
・5,300人 (累計)

(実績) H23
・5,428人

達成



課題

・受講者は就労をしながら研修を受けるため、業務との調整に苦慮している

今後の取組み方針

・対象者が受講しやすい実務研修の開催に努める

基本目標 5 「みんなが主役・元気とくしま」

5-3 障害者活き活きとくしまづくり

- 1 障害者の自立支援の推進
- 2 障害福祉サービスの人材育成
- 3 障害者の社会参加の推進
- 4 発達障害者（児）への支援

発達障害者総合支援ゾーン (小松島市中田町)

医療

**徳島赤十字
ひのみね総合療育センター**
心身に障害のある方が
利用できる、病院の機能を持った
社会福祉施設

相互に連携

教育・就労

徳島県立みなと高等学園
高等学校段階の、病弱または
知的障害を伴う発達障害の生徒を
対象とする特別支援学校

福祉

徳島赤十字乳児院
さまざまな理由により
家庭で養育できない
乳幼児を養育する児童福祉施設

総合支援

**徳島県発達障害者総合支援センター
ハナミズキ**
発達障害のある方やご家族に対し、相談
や支援を行う発達障害に関する総合窓口

「早期発見」「早期支援」「就労支援」を一体として行う、
「発達障害の総合的な支援拠点」

施設利用者の工賃アップ

(目標) H26
・平均工賃順位 全国1位
(目標) H23
・工賃(月額) 17,000円



(実績参考) H22
・平均工賃順位 全国2位
・工賃(月額) 17,426円

ブランドロゴマーク



NPO法人とくしま障害者授産支援協議会の統一ブランド

課題

・厳しい経済情勢や民間競合にさらされるなか、ハードルは高い。

今後の取組み方針

- ・徳島らしさを生かした共通コア商品のレベルアップと新商品の開発
- ・アンテナショップの開設及び授産製品取扱店の設置
- ・ショッピングセンター等との連携
- ・共同受注、共同生産、共同販売とブランド戦略による効果的な販売促進
- ・企業等との連携を推進する支援ネットワークの構築
- ・コンサルタントの派遣等による経営改善
- ・専門家の派遣による技術向上支援
- ・事業所職員の意識改革

「障害者交流プラザ」の利用者数

(目標) H23 (累計)
・70万人



(実績) H23
・73万2881人

達成



平成18年オープン、
「障害者交流センター」、「視聴覚障害者支援センター」、「障害者スポーツセンター」の複合施設。
また「障害者相談支援センター」が施設内に移転

課題

・適正なモニタリングの実施、及びモニタリング結果の有効活用が必要

今後の取組み方針

・今後もより一層、障害者の自立と社会参加を総合的に推進できる場として、また、「交流と活動の拠点」として活用する。

基本目標 5 「みんなが主役・元気とくしま」

5-4 ユニバーサルとくしまづくり

1 ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進

とくしまユニバーサルデザイン によるまちづくり賞

(目標) H23
・表彰数 37件 (累計)
(目標) H24
・観光ユニバーサル大賞創設



達成

(実績) H23
・表彰数 46件
・観光ユニバーサル大賞創設

平成23年度は13件の表彰を行った。
UD (まちづくり、ものづくり、意識づくり各部門)
観光ユニバーサル大賞 (施設、製品、活動各部門)

課題

・「とくしまユニバーサルデザイン県民会議」を通じて、県民・事業者・行政が連携してそれぞれの自主的な取り組みを促進するとともに、普及啓発に努めることが必要。

今後の取組み方針

- ・県のホームページや「ユニバーサルデザイン講座」等で周知を図る。
- ・障害者等が安心して外出できるよう「とくしまユニバーサルデザインマップ」を作成し、県のHPに掲載し情報提供する。

パーキングパーミット制度の促進

(目標) H23
利用可能駐車台数
・850台

(目標) H23 交付件数
・2,750件

達成

(実績) H23
・3,865件

(実績) H23
・837台

ほぼ達成



課題

・駐車場が、真に必要としている方々に適切に利用されていない事例が一部見受けられるため、制度の周知が必要。

今後の取組み方針

- ・利用証の東北から九州までの制度実施府県における相互利用に係る周知
- ・関西広域連合への拡大への対応
- ・四国連携事業
- ・高速SA・PAへの拡大

基本目標5 「みんなが主役・元気とくしま」

5-5 共助共生とくしまづくり

- 1 地域福祉の推進
- 2 地域における高齢者支援の推進
- 3 地域における障害者支援の推進

障害者スポーツ・レクリエーション 活動の支援

(目標) H23
障害者スポーツ指導員の派遣
・ 360件 (累計)



(実績) H23
・ 482件

達成



ノーマピック・スポーツ大会

課題

- ・ スポーツ指導員の質、量の確保、維持
- ・ ニーズの把握

今後の取組み方針

- ・ 質の高い指導員の養成
- ・ ニーズにあった指導員の派遣



保健福祉部では、医療、健康、子育て、高齢者・障害者福祉、人権推進など、県民の暮らしに直結する多くの事業を所管しています。

いけるよ！徳島行動計画では、職員一丸となった取り組みの推進により、県民の方が「幸福を実感できる暮らし」の実現を目指します。